

岐阜県立不破高等学校

学 校 長 浅井 正美

学校所在地 不破郡垂井町宮代1919の1 電話 0584-22-1002

1 会議の名称 岐阜県立不破高等学校評議員会 (第2回)

2 会議の構成 (評議員は五十音順)

評議員	井川 暁男	宮代公民館館長	
	岩佐 永二	マルセ木材(有)取締役工場長	
	桑原さつみ	桑原モーターズ取締役	
	田辺 久子	不破保護区保護司会会長	
	丹羽 豊次	同窓会副会長	
	学校関係者	吉川 勝	P T A会長
		川本 貴一	P T A副会長
		富田眞基子	P T A運営委員
		田中美佳子	P T A運営委員
		寺町 多恵	P T A会計
		太田 明美	P T A厚生委員長
		岩下佐代子	P T A学年委員長
	学 校	浅井 正美	校長
若松 卓郎		教頭	
窪田 晴文		事務長	
森田 英明		教諭	
大橋 美利		教諭	
小川 義隆		教諭	
岡田 眞紀	教諭		

3 会議の目的 学校運営について地域住民や保護者から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成23年3月1日(火) 10:50~12:10 校長室 評議員5名・学校関係者7名と学校7名が出席

5 会議の概要 (意見聴取・提案・提言等)

(1) 年間の取り組みについて(自己評価)

- 学校経営、学習指導、生徒指導、進路指導、健康と安全、特別活動について担当が説明。

○ 生徒・保護者のアンケート結果と分析について説明

(2) 平成23年度に向けて（方策・提言）

【卒業式に参加して】

- ・ 卒業式は想像していたより厳粛でよかった。
- ・ 卒業証書授与で、8割くらいの生徒が名前を呼ばれても声が小さいのか返事が聴き取れなかった。式歌は後方の生徒は歌っていないように感じた。先生方の声はよく聞こえた。
- ・ 卒業式は昨年より随分良くなった。話をする人の方を向いて聞いていたのはよかったが、式歌を歌う声が小さいし、返事が出来ていないので、これらの練習訓練が必要である。
- ・ 以前授業参観した折は、授業態度の悪い生徒もいたが、同窓会入会式や卒業式の態度はよかった。

【進路選択】

- ・ 職業ガイダンスは、1年生だけの実施でなく、1年と2年では考えも変わるので、1～3年全学年を通して実施したことはよかった。また、2年生のインターンシップは、全員が実施するのではなく、やる意欲のある生徒を募って、実施したことはよかった。

【基本的生活習慣】

- ・ 遅刻の生徒が気になった。気持ちの持ちようであると思うが、家を出るのが遅いのか、途中で道草をしているのか、家庭と連携をとって指導してほしい。
- ・ 1. 2年は、遅刻が多かったが、3年になると少なくなった。これも、先生方やPTAの方が始業前に指導してくださっているからだと思う。時間に対する意識が弱いので、この指導を続けていただくことがよい。
- ・ 遅刻は家庭と連携し何とかならないのか。
- ・ 同窓会入会式における理事に任命された生徒の返事がよかった。あいさつ運動の成果が出ていた。
- ・ 登校の時にあいさつを返す生徒が出てきた。
- ・ 北野神社の所を通る生徒に目が合うと「お帰り」と繰り返し言うと、応えてくれる。小中学生と同じで純粋な面もあるので、繰り返し指導していくことが大切である。
- ・ あいさつ運動を5日間やっていると、最後の方にはあいさつができるようになる。生徒は純真なところがあり、清らかな心があるので、訓練次第でよくなるので根気に指導してほしい。
- ・ 気になるのは服装・身なりである。今後、指導の徹底をしてほしい。
- ・ 身なりをきちんとするのが格好悪いと思う年頃なので、口を酸っぱくして、あきらめず、ダメなことはダメだと指導し続けてほしい。
- ・ 服装等について、軽く考えていたので、この機会に子どもと話し合いたい。
- ・ 服装指導（髪の色・スカートの長さ等）に偏りがある。職員一致した指導をお願いしたい。他校のように膝をつかせて、そこから何センチならOKというようにして、生徒にも明確にわかるようにしてほしい。
- ・ 卒業式での来賓の方が言われた身だしなみと、PTA会長が言われたあいさつを繰り返し言っていく必要がある。
- ・ 交通ルールと服装、あいさつを徹底して指導してほしい。

【交通ルール】

- ・ 北野神社付近では自転車の二人乗り等交通マナーが悪い。不破高坂の下りきった付近のポス

トに足げりをしたり、南宮大社前のベンチに坐って駄菓子を食べたりして印象が悪い。しっかりと指導してほしい。

- ・ 不破高坂を猛スピードでノンストップで横切る生徒がいる。整備不良の自転車はないか心配している。定期的に整備点検をお願いしたい。
- ・ 不破高坂の中間点で確認する職員の指導配置を考えてはどうかと思う。
- ・ 下校時の不破高坂でのスピードの出し過ぎははた迷惑である。石垣にぶつかって転んだ生徒に声をかけても答えもしなかった。
- ・ 不破高坂より急な脇道の坂でもノンブレーキで下って非常に危険であり、指導をしてほしい。
- ・ 二人乗り等に対する交通ルールを守らせ、命を大切にすることを、地元の人々の協力を得て教えていきたい。

【ボランティア活動】

- ・ ボランティア活動では、地域に認識される生徒に限られており、少しでも多くの生徒に広げて行ってほしい。
- ・ ボランティアの参加の方法を考える。ペットボトルのキャップを集め、持ってくることもボランティアである。

【その他】

- ・ 携帯メールが、保護者との連絡の手段と知り、時代を感じた。
- ・ 今年度の生徒は、薬物乱用防止講演会の時も静かに聞いていてよかった。
- ・ 中学生の不破高に対する評判が悪い。不破高へ行けば、ピアスや茶髪、短いスカートでもOKだと風評が立っている。
- ・ 大垣市内の勤務先で、うちの子は不破高だというと、「えっ」と言われるので、地域で自慢できるようになってほしい。
- ・ 退学が多いのは残念である。ルールに則って退学するのかわかからないが、やめてしまった子の将来が心配である。
- ・ 不破高の受験生は、2・3年前とは変わって定員オーバーとなり、喜ばしいことであるが、1年生だけで14名も退学しており、退学者数を減らせないか。
- ・ 卒業生の内定率もよい等、少しでも不破高のイメージがアップするよう努めてほしい。
- ・ 活気が出るようなことがないか。地域を含め協力できることがあれば協力していきたい。
- ・ 可能かどうかはわからないが、1年生の総合くらいで、1週間ぐらい自衛隊研修でも行ってはどうか。規律等が整然とするのではないか。人間性を育成するという幅広いかたちで行ってほしい。

6 会議のまとめ

いろいろご意見いただき、ありがとうございます。

定員オーバーだけでよいとは言えません。交通指導等繰り返し行っていますが、なかなかよくなっていきません。もちろん、入学させた生徒は卒業させるという思いを持って指導していますが、生徒が自分をみつめ、進路変更をするのでやむを得ない面があります。また、生徒一人ひとり指導の経過が違うので、それをブレがあると思われたいよう指導し、地道に生徒と向き合って努力していきたいと思えます。今後ともご協力をお願いします。